

【指標 - 2】規格の高い道路を使う割合（現況値：6% H15年度：6% H19年度：7%）

現状と問題点

沖縄県における自動車専用道路分担率（規格の高い道路を使う割合）は6%であり、全国平均（13%）の約半分程度と低く、道路（自動車専用道路（規格の高い道路）・幹線道路・生活道路）の機能分化が進んでいない。

自動車専用道路（規格の高い道路）は一般道路と比較して、交通事故が発生する確率が著しく低いため、自動車専用道路（規格の高い道路）を使う割合が向上することにより、安全性が向上する。また、旅行速度と大気汚染物質排出量の関係から、規格の高い道路を使う割合が向上することは環境改善にも寄与する。

平成11年7月より料金割引（割引率：約35%）を実施しており、これにより沖縄自動車道の利用実績が向上し、地域の交流が促進している。

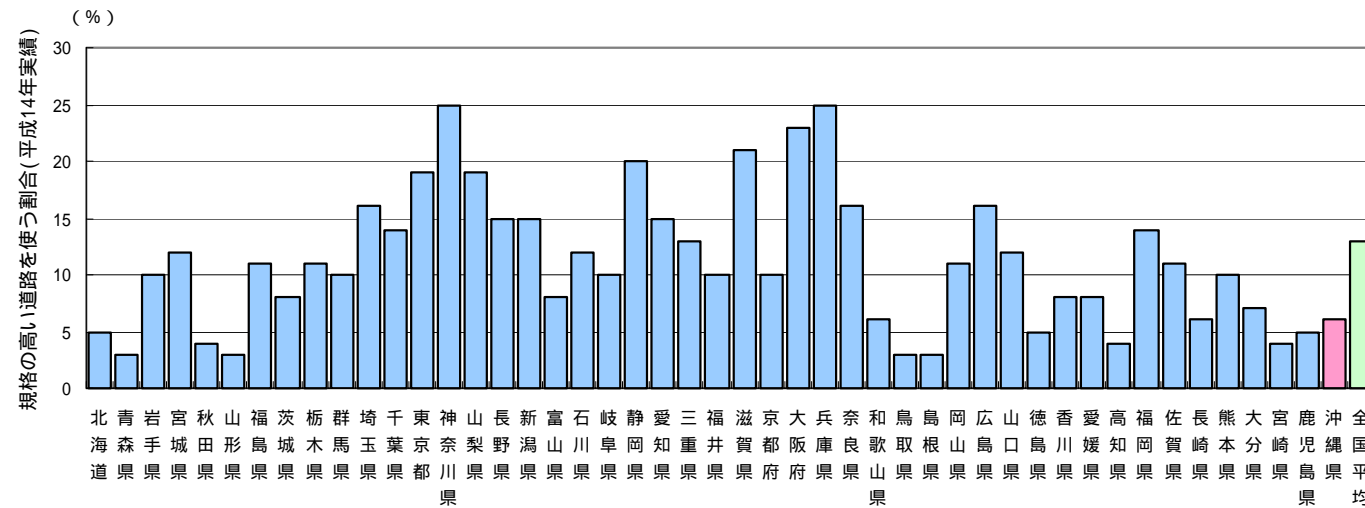


図 都道府県別の規格の高い道路を使う割合

出典：国土交通省資料

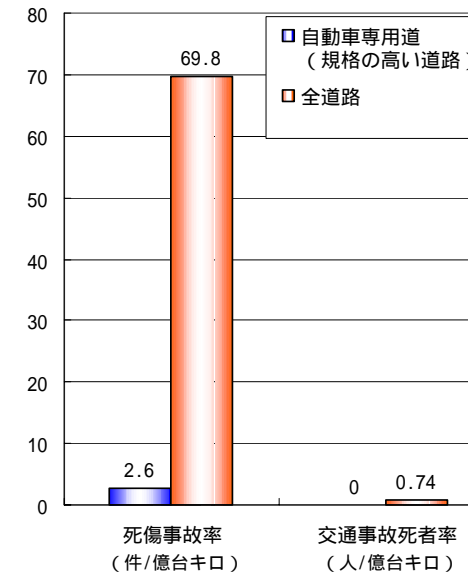


図 沖縄県における事故の発生状況

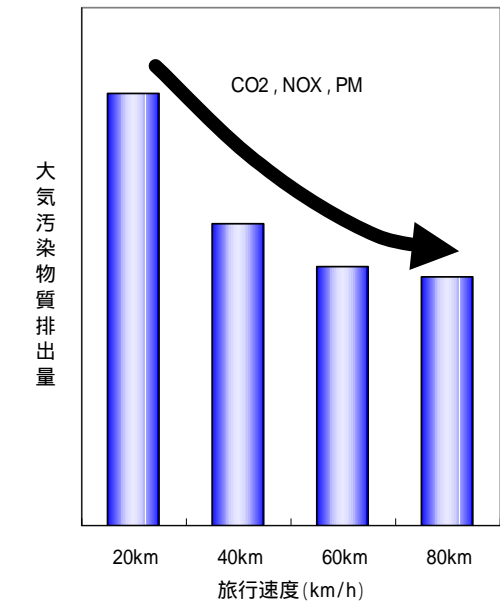


図 環境保全への効果

出典：国土交通省資料（H14年実績値）

死傷事故件数、交通事故による死者数：(財)交通事故総合分析センターによる調査に基づく平成14年の値。
 走行台キロ：「道路交通センサス」(平成11年度) 国土交通省調査結果(平成14年度)
 「陸運統計要覧」(平成13年度)に基づく値。

講じる施策や事業

| 関連する施策・事業 | 平成15年度の主要事業・施策 | 平成15年度供用予定箇所 |
|--------------------|---|--------------|
| 高規格幹線道路・地域高規格道路の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 那覇空港自動車道（豊見城IC～那覇空港南IC(仮称)） 名護東道路 一般国道58号沖縄西海岸道路（那覇西道路） | |
| 料金施策 | <ul style="list-style-type: none"> 沖縄自動車道の通行料金の低減に係わる措置の継続 | |

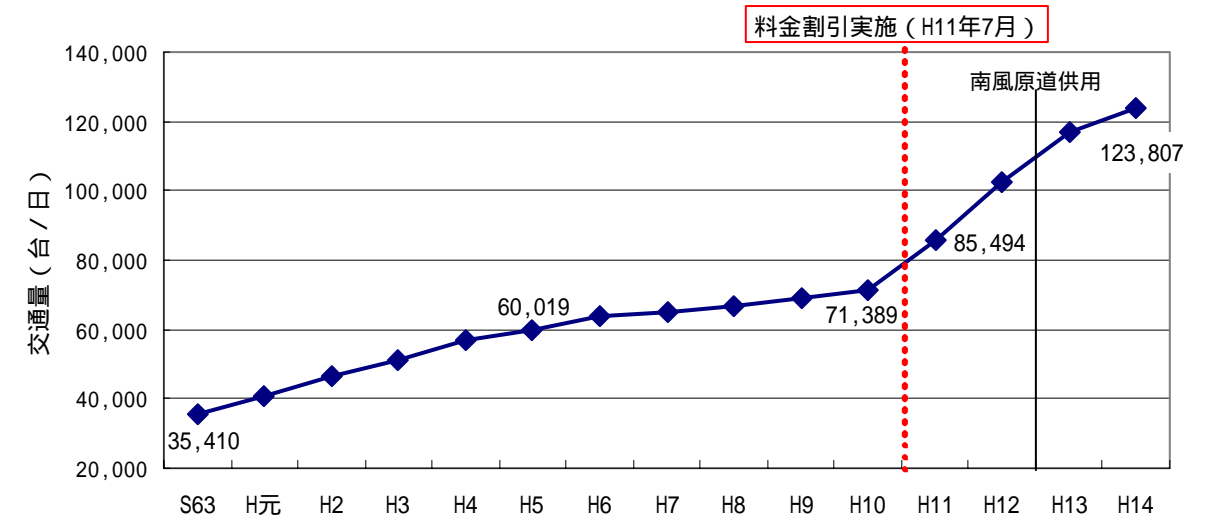


図 沖縄自動車道交通量の推移

出典：日本道路公団資料